

聖書研究 第二十五課 クリスチャンの生活標準

神のみ言葉は、福音を説くだけでなく、クリスチャンの生活標準も示しています。いったんキリストを受け入れるなら、私たちは「キリストの大使」と呼ばれます。ですから、私たちは、生活の中に神がおられることを証する歩みをしているのです。人々は私たちの内に「キリスト」を見る必要があります。これは、生活の中で、聖霊を通してのみなし遂げられ得ることで、時間がかかります。しかしながら、神は、私たちが生活のため神の原則を知り、理解することを望んでおられます。この課で、聖書の原則が何であるか、そしてどのようにそれらに適應するかを探究します。

1. パウロは、ローマの信者たちに、何をどのように教えておられますか？

ローマ 12 : 2

2. ヨハネは「世」に関して何と教えていますか？ I ヨハネ 2 : 15 _____

3. ヨハネが、警戒するようにはっきり言っている三つの分野は何ですか？

I ヨハネ 2 : 16

1) _____

2) _____

3) 生活のおごり、(自慢) KJV “pride of life”

注：世俗心は何であっても利己主義によって動機づけられているものです。神にとって私たちの動機が重要であり、そしてそれが私たちのすることの中心です。

4. 「世俗心」は不信者だけの特徴ですか？ I コリント 3 : 1-3

5. (肉)罪深い性質を持っている、または「世の中に」生きていることの他の証拠は何ですか？

ガラテヤ 5 : 19-21 _____

注：聖化または神によって「清く」にしていただくことは、過程であり時間がかかります。この聖句は、パウロが、十年前にキリストに導いたコリントの教会に向けて書書かれています。彼は、今ごろはもう、彼らは成熟したクリスチャンに成長しているべきであったと彼らに言っています。

6. 人はどのように成熟したクリスチャンに成長しますか？ ガラテヤ 5 : 16-18

注：「霊によって生きる」の人は、日ごとの祈り、御言葉を読むこと、そして心と生涯を神に明け渡すことを通して、神との密接なつながりを保ちます。そうするときのみ、聖霊が私たちの内に働きを続けられるのです。

「心にイエスを入れる余地をつくる者は、イエスの愛をみとめる。神のご品性のみかたちをそなえたいとあこがれる者はみな満足させられる。聖霊は、イエスを見ている魂を助けないままにしておかれない。聖霊はキリストの事がらをとりあげて、それを魂に示される。もし目をキリストにそそいでいるなら、みたまの働きは、その魂が神のみかたちに一致するまでやまない」。Ⅱ各希 p.7

7. 私たちの内住される聖霊の属性には、どんなものがありますか？

ガラテヤ 5 : 22-25

注：聖書には信者のための多くの勧告があります。これらの多くは、それらの時代の文化の枠組みの中にもありました。例えば、Ⅰテモテ 2 : 8-10 に、女は髪を編んだりすべきでないと書かれています。それにはどんな不都合があったのでしょうか？パウロの時代には、売春婦だけが髪を編み、多数の宝石類を身に着けていました。パウロの言っていることは、本質において、神の子たちは、売春婦のように装うべきではないということです。そのように、「規則」を与えるよりはむしろ「原則」を示す方が良いのです。原則は、文化や時代を超越します。それは事の核心に対して適切に処理します。この課で五つの基本的な原則を見ていきます。

クリスチャン生活のための五つの基本的原則

1. **動機** - なぜあなたはそれをしているのですか？ それは誰に栄光を帰し、または注意を引きますか？ *Ⅱコリント 5 : 14, 15*
2. **人とのかかわり合い** - 他の人々と彼らの必要を、あなたのものより上に置く。 *Ⅰコリント 10 : 24 ; Ⅰコリント 9 : 22*
3. **優先順位** - 何がより重要ですか、外側、それとも内側？ 私たちがより多くの時間を費やすのは、外側を飾ることですか、あるいは清い心を養うことですか？ *Ⅰテモテ 2 : 8-10 ; コロサイ 3 : 1, 2 ; Ⅰペテロ 3 : 3, 4*
4. **一貫性** - 私たちの態度は、首尾一貫していますか？ 私たちは他の人たちに信頼されていますか？ 私たちは、言行は一致しないですか？ *マタイ 23 : 1-3*
5. **単純さ** - 所有物の煩わされるではなく、美しい内なる魂の単純さに満たされることが重要です。 *ルカ 12 : 15*

結論：私たちを、神が示された標準に達する地点までに至らせることは、神の働きです。私たちの役割は、常に神のもとに来て、愛を頂き、罪の告白、赦し、恵みと力を求め続けることだけです。そのとき、神は、他の人々が私たちの中に彼を見て彼に引き寄せられるように、働き続けられます。そうするときに、私たちは、多くの人々に触れ、祝福することにより、自分自身が豊かな有意義な人生を生きるのです。

二十五課の答えとなる鍵

質問 1. もはや、この世の手本に従ってはならない。

質問 2. 世を愛してはならない。

質問 3. 肉(罪深い性質)の欲、目の欲、生活のおごり(自慢) “pride of life”。

質問 4. いいえ。

質問 5. 不品行、偶像礼拝、まじない、憎しみ、不一致、ねたみ、怒り、利己的な野心、不和、党派心、嫉み、耽溺、そして酩酊(酒に酔うこと)。

質問 6. み霊による生きる。

質問 7. 愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制。